

一般演題の採択結果

会期：2026年8月29日（土）／会場：横浜シンポジア

SEQ.	セッション名	セッションテーマ	開始時間	終了時間	会場	演題番号	演題名
1	一般演題 1	研究（神経筋疾患）	10:55	11:27	第2会場	01-1	標準ディサースリア検査と経口摂取状況の関連についての検討
2	一般演題 1	研究（神経筋疾患）	10:55	11:27	第2会場	01-2	干渉波電気刺激装置を用いた嚥下訓練を長期間継続した11 症例の検討
3	一般演題 1	研究（神経筋疾患）	10:55	11:27	第2会場	01-3	神経筋疾患における胃瘻造設の効果とその予後
4	一般演題 1	研究（神経筋疾患）	10:55	11:27	第2会場	01-4	甲状披裂筋弁による声門閉鎖術
5	一般演題 2	症例 1（リハビリテーション）	11:30	12:10	第2会場	02-1	筋強直性ジストロフィーに対する頸部干渉波刺激の試み～食事形態変更に至った一例～
6	一般演題 2	症例 1（リハビリテーション）	11:30	12:10	第2会場	02-2	人工呼吸器管理下で経口栄養を確立したGuillain – Barré 症候群の1例
7	一般演題 2	症例 1（リハビリテーション）	11:30	12:10	第2会場	02-3	多職種介入により経口摂取不能から常食摂取に至った短腸症候群合併ICU-acquired weakness の1 例
8	一般演題 2	症例 1（リハビリテーション）	11:30	12:10	第2会場	02-4	胃瘻造設後のパーキンソン病の嚥下障害に食道入口部バルーン拡張療法を試みた一例
9	一般演題 2	症例 1（リハビリテーション）	11:30	12:10	第2会場	02-5	誤嚥防止術後の長期経過中に肺炎を発症したパーキンソン病の2 例
10	一般演題 3	症例 2（外科治療・神経病理）	15:35	16:07	第2会場	03-1	嚥下機能改善術後にA 型ボツリヌス毒素製剤の唾液腺内投与を継続しながら嚥下訓練を行った抗AQP4 抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の一例
11	一般演題 3	症例 2（外科治療・神経病理）	15:35	16:07	第2会場	03-2	「嚥下症状を伴う機能的神経学的症状症」の取り扱い
12	一般演題 3	症例 2（外科治療・神経病理）	15:35	16:07	第2会場	03-3	パーキンソン病における食道機能障害と食道下部α シヌクレイン沈着を認めた剖検例
13	一般演題 3	症例 2（外科治療・神経病理）	15:35	16:07	第2会場	03-4	発症時より一貫して嚥下障害が前景に立った封入体筋炎の剖検例
14	一般演題 4	研究（パーキンソン病）	16:15	16:55	第2会場	04-1	進行期パーキンソン病の嚥下障害に対する持続経皮注射療法の効果
15	一般演題 4	研究（パーキンソン病）	16:15	16:55	第2会場	04-2	パーキンソン病の嚥下障害に対するサフィナミドとオピカボンの効果と比較
16	一般演題 4	研究（パーキンソン病）	16:15	16:55	第2会場	04-3	Parkinson 病の嚥下障害に対するsafinamide 増量の効果
17	一般演題 4	研究（パーキンソン病）	16:15	16:55	第2会場	04-4	パーキンソン病に伴う嚥下障害における近位食道異常収縮とL-dopa 反応性
18	一般演題 4	研究（パーキンソン病）	16:15	16:55	第2会場	04-5	パーキンソン病の首下がり嚥下に与える影響

※一般演題の発表形式は口演です。

※一般演題の発表時間は8分（発表：6分／質疑：2分）です。